



CSR報告書2021

Corporate Social Responsibility Report 2021

0 | content

コンテンツ



1 | **トップメッセージ**
top message

2 | **会社情報**
company profile

3 | **トピックス2020**
topics 2020

4 | **経営とCSR**
management & CSR

5 | **ガバナンスの取り組み**
governance effort

6 | **お客様と、お取引先様とともに**
customer & business partners

7 | **従業員とともに**
with employees

8 | **安全衛生の推進**
health and safety

9 | **環境への取り組み**
environment

10 | **地域社会とともに**
community involvement

1 | top message

トップメッセージ

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、感染症拡大防止に向けて社会を支えてくださっている全てのエッセンシャルワーカーの皆さまに、心より感謝の意を表します。



日本トレクス株式会社 代表取締役社長

中島 光彦



持続可能な
モノづくりに向けて

時代によって社会の状況は刻一刻とめまぐるしい変化が続き、物流業界からの要望も、効率・安全はもちろんのこと、カーボンニュートラルに向けた取り組みも求められています。輸送機器を取り扱う私たちにとっても、「地球温暖化への対応」は最優先で取り組まなければならない課題です。課題解決のための省エネ投資や生産方法の見直しを行なうとともに、新しい製品の開発を積極的に進めてまいります。具体的な製品として、ドライバーひとりで大型車2台分の荷物を運ぶことのできる「ダブル連結トラック」や、ドライバーから荷役作業を分離し、最大限運転業務に集中することのできる「スワップボデー」など、働き方改革関連法による「2024年問題」の解決の一助となる製品を提案・提供することで、持続可能な社会基盤を支えてまいります。



ウィズ・コロナの時代

2021年度の世界経済は、前年度末から続く新型コロナウイルスの感染拡大によって、各国で社会・経済活動が大きな制限を受け、需要が急速に冷え込みました。下半期以降はワクチン接種の進展により、先進国を中心に経済活動は徐々に回復しつつありますが、景気見通しは依然として予断を許さない状況が続いています。当社を取り巻く環境も、世界的な部品供給不足や原材料費高騰により、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。そのような状況の下、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、従業員の安全確保に注力するとともに、テレワークやWeb会議等の同感染症拡大がもたらした様々な変化をポジティブに捉え、ウィズ・コロナにおける働き方改革を進めてまいります。



選ばれるトレクスで
あり続けるために

日本トレクスは創業57年を迎えた今でも、日々お客さまにとって安全・安心にお使いいただける製品は何かを問い続け、生産・販売活動を続けております。現在のような先行きを見通すことが難しい世の中でも、お客さまに喜んで使っていただける製品の提供、安心していただける製品の提供に対する姿勢は不変です。これからも私たち日本トレクスは、「人と地球にやさしい、社会と共存できる日本トレクス」を合言葉に、お客さま、従業員、社会、そして株主といった全てのステークホルダーの皆さまから信頼される企業であり続けるため、積極的に社会的責任を果たし、健全で持続可能な社会づくりへの貢献を目指してまいります。引き続き皆さまには一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 | company profile

会社情報

■ 会社概要

日本トレクス株式会社

所在地 愛知県豊川市伊奈町南山新田350
 設立 1964年(昭和39年)8月1日
 資本金 20億1,100万円
 株主 極東開発工業株式会社
 売上高 468億100万円(2021年3月期)
 事業内容 トレーラ、タンク、ウイングボデー、バンボデー、バンキット、
 コンテナ、シェルタ、各種部品などの輸送用機器の製造販売



本社事業所
 敷地面積 125,000㎡ / 建物面積 54,000㎡



音羽事業所
 敷地面積 21,000㎡ / 建物面積 13,300㎡



御津事業所
 敷地面積 36,000㎡ / 建物面積 10,000㎡

販売拠点とサービス拠点

【販売拠点】

北日本営業部

- ① 北海道支店
- ② 東北支店

東日本営業部

- ③ 関東支店
- ④ 新潟営業所
- ⑤ 千葉支店

首都圏営業部

- ⑥ 東京東支店
- ⑦ 東京西支店
- ⑧ 横浜支店

中部営業部

- ⑨ 静岡支店
- ⑩ 名古屋支店
- ⑪ 富山営業所

近畿営業部

- ⑫ 大阪支店
- ⑬ 阪神支店
- ⑭ 岡山支店

西日本営業部

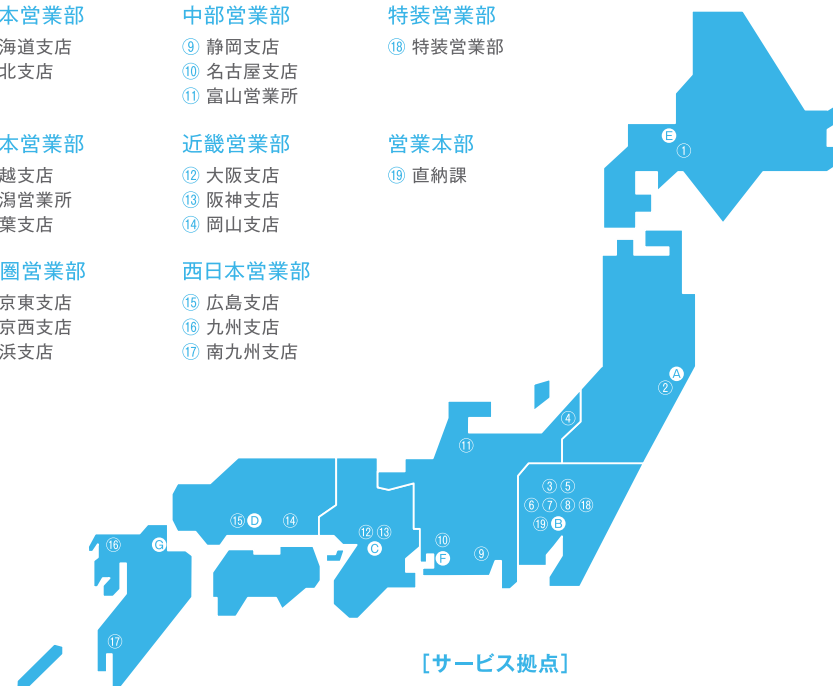
- ⑮ 広島支店
- ⑯ 九州支店
- ⑰ 南九州支店

特装営業部

- ⑱ 特装営業部

営業本部

- ⑲ 直納課



サービス工場
 全国 375社

【サービス拠点】

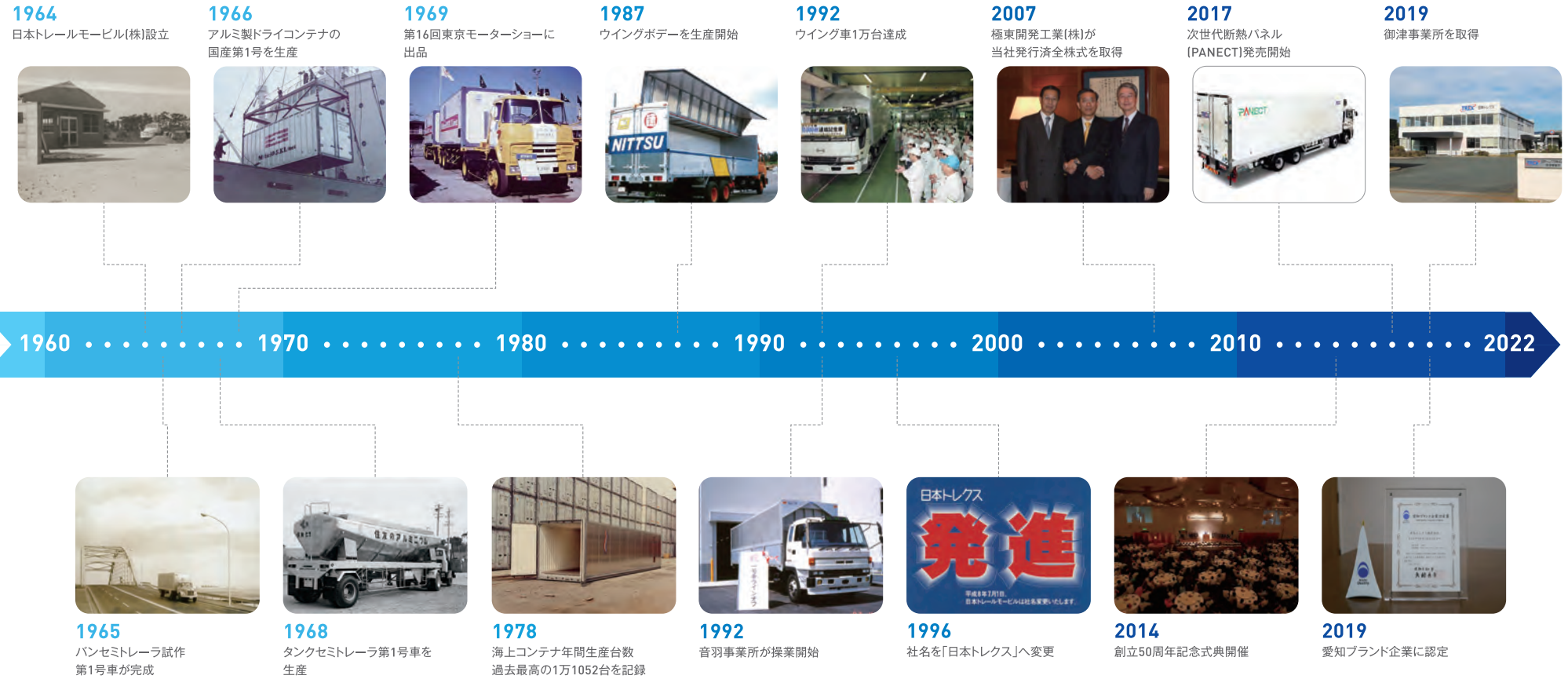
- A 東部ロードサービス課(東北)
- B 東部ロードサービス課(東京)
- C 関西ロードサービス課(大阪)
- D 関西ロードサービス課(広島)
- E トレクスサービスセンター北海道
- F トレクスサービスセンター中部
- G トレクスサービスセンター九州

2 | company profile

会社情報

■トレックスの歴史・沿革

創業以来、輸送用機械器具製造メーカーとして、時代とともに変化する社会のニーズを捉え、満足いただける商品の提供を目標として活動してまいりました。日本トレックスの半世紀にわたる歴史をご紹介します。



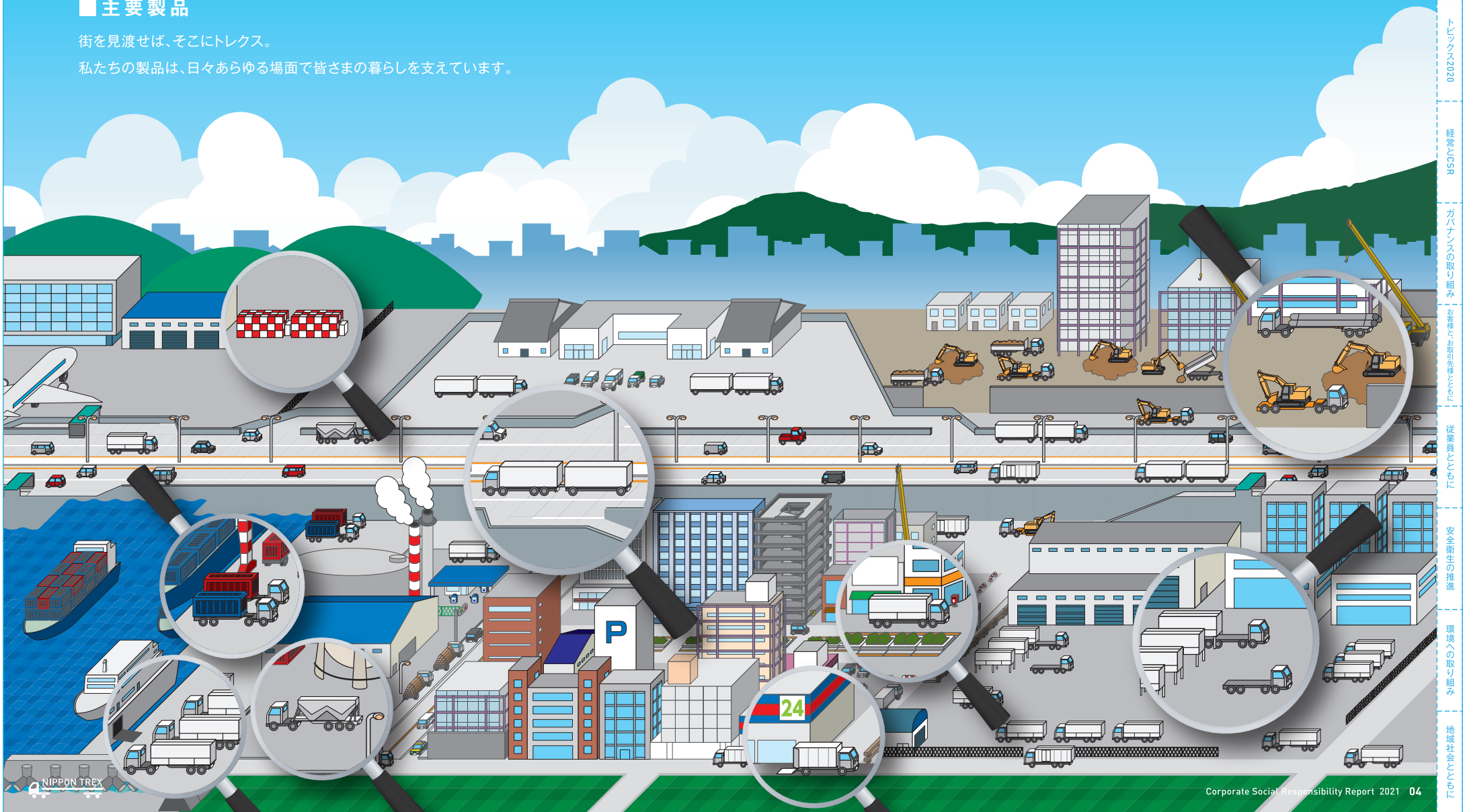
2 | company profile

会社情報

■ 主要製品

街を見渡せば、そこにトレクス。

私たちの製品は、日々あらゆる場面で皆さまの暮らしを支えています。



トップメッセージ
会社情報
トレックス2020
経営とCSR
ガバナンスの取り組み
お客様とお取引先様と
従業員と
安全衛生の推進
環境への取り組み
地域社会と

3 | topics 2020

トピックス 2020

1

日本トレクスレポート:01

NIPPON TREX Report:01



「ダブル連結トラック TXコンセプト」お披露目会 開催 【2020年8・9月】

2020年8月～9月にかけて、ジャバントラックショー2020で展示予定だった「ダブル連結トラック TXコンセプト」をマスコミ、お客様向けにお披露目会を開催しました。新型コロナウイルスにより、ジャバントラックショー2020は中止となってしまいましたが、コロナが落ちついたのち、各関係者様に個別にご覧いただくことで、PRを行なうことができました。



ダブル連結トラック TXコンセプト:スワップウイングボデーx冷凍バントレーラ

2

日本トレクスレポート:02

NIPPON TREX Report:02



航空自衛隊より感謝状を授与 【2020年11月】

11月9日に長年の装備品の納入により、航空自衛隊の発展に貢献してきたことを評価され、航空自衛隊補給本部長より感謝状を頂きました。トレクスは昭和53年から『1t水タンクトレーラ』等の車両を航空自衛隊へ継続的に納入するとともに、令和元年には、『かく座機収納トレーラ』を硫黄島に納入し、航空救難態勢の確立にも携わってきました。今後も様々な課題に取り組み、業界の発展に全力を尽くしてまいります。



3 | topics 2020

トピックス 2020

3

日本トレクスレポート:03

NIPPON TREX Report:03



健康経営優良法人2021に認定 【2021年2月】

2年連続で健康経営優良法人に認定されました。
コロナウイルスの影響で集まっていたのセミナー等はできませんでしたが、ウォーキングキャンペーンや日々の野菜摂取量を意識できるベジハンドの取り組みなど、個人でも取り組めるイベントを多数開催し、従業員への健康意識を高めています。



2021
健康経営優良法人
Health and productivity

4

日本トレクスレポート:04

NIPPON TREX Report:04



資材運搬車へボディプリント 【2021年3月】

トレクスの工場間を毎日定期的に運行する資材運搬トラックに、豊川市のマスコットキャラクター「いなりん」と、市花の「さつき」をアレンジしたデザインを、リコー様協力のもと、トラックボディにデジタルペインティングでプリントしました。このトラックが地域の皆様に愛されることを願っております。



3 | topics 2020

トピックス 2020

5

日本トレクスレポート:05

NIPPON TREX Report:05

8

働きがいも
経済成長も



デジタルサイネージの運用開始 【2021年3月】

各事業所の食堂にデジタルサイネージを導入しました。従業員同士の相互理解を促すためのコミュニケーションツールとして、また社内だけでなくお客様のことを知ってもらうなど、情報共有の場を目的としスタートさせました。これからも従業員の皆様に情報を伝えられるよう、コンテンツを充実させてまいります。



4 | management & CSR

経営とCSR

■ CSRに対する基本的な考え方

当社は、長年にわたり培ってきた技術と信頼を軸に、お客様やお取引先様などをはじめとしたステークホルダーの皆さまとともに、世の中の発展に向けて、新たな価値を創造してまいります。

2013年にCSRポリシーとして「日本トックスビジネス行動規範」を制定し、これをベースにステークホルダーの皆さまとともにスパイラルアップしながら、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

企業理念

顧客(おきやくさま)の信頼に応え、
満足される商品と
サービスを提供する。



ビジネス行動規範 (抜粋)

企業が効率や利益を追求し競争を行うこと自体は、正常な企業活動です。しかし、利益の追求、競争が高ずるあまり、企業活動が社会的正義に反するものになってはなりません。日本トックスの企業活動は、お客様やお取引先をはじめ、株主、地域社会などの数多くの人々との関係の中で成り立っており、健全な企業活動を通じて、これらの人々の期待に応える責任があります。日本トックスは、企業としての社会的役割、責任を自覚し、社会とともに成長し発展し続けます。

4 management & CSR

経営とCSR

■日本トレックスとSDGs

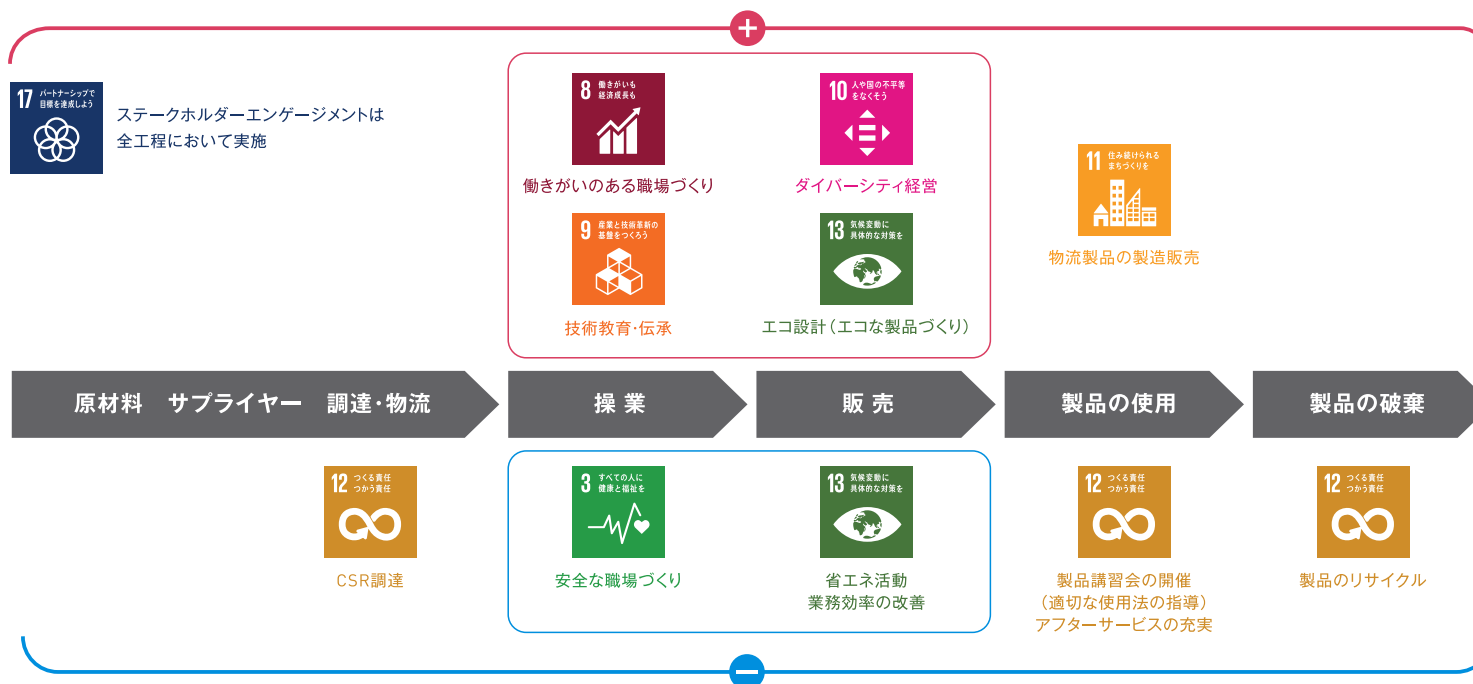
2015年9月、国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」。

SDGsはあらゆる社会課題の解決に全世界が取り組み、「誰ひとり取り残さない世界」を実現させるための17個の目標です。これを受け当社もSDGsに貢献する取り組みを推進しています。具体的には、2018年度に実施したCSR活動項目の刷新時にSDGsの関連付けを開始。SDGsの達成に向け、社会の一員としての役割と責任を果たすために、積極的に取り組んでまいります。

重要課題

社会課題の解決につながる当社グループの取り組みを、バリューチェーンに沿って特定しました。事業を通じてこれらに重点的に取り組むことで、SDGsの達成と持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

SDGsの目標達成に向けて「正の影響」を強化することができる取り組み



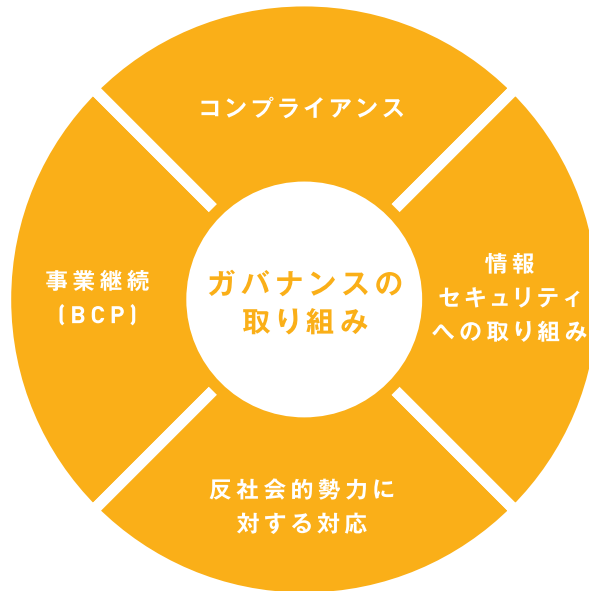
SDGsの目標達成に向けて「負の影響」を抑制することができる取り組み

5 | governance effort

ガバナンスの取り組み



■ ガバナンスの取り組み



コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は持続的な発展による企業価値の向上こそが経営上の最重要課題であると位置づけております。そのためには経営の健全性を確保し、全社に法令遵守を徹底し、企業の社会的責任を果たすことが必要であると考えております。また、今日のように社会環境が激しく変化し続けるなかで、これに迅速に対応する効率的な経営体制を構築し、さらに向上させるべく努めてまいります。

○ コンプライアンス

法令や社内のルールなど、コンプライアンスに沿った行動を従業員が取れるよう、従業員が守るべきルールを『日本トレクスビジネス行動規範』に定めるとともに、全従業員を対象にした社内ネットワーク上での『コンプライアンス教育』を実施しています。また、コンプライアンスに関する相談や不正行為等の通報のために外部機関に担当者を置いた『コンプライアンス・ホットライン』を設置し、通報者の保護を徹底した内部通報制度を運用しています。

○ 事業継続 (BCP)

当社は大規模地震など不測の事態が発生した場合の対策として「地震防災関連規定」を制定し、そのうえで人命の安全確保が最優先と考え、従業員やその家族の安否が携帯電話でいち早く確認できるシステム(オクレンジャー)を導入しています。また、各事業所や営業所では、万が一の事態に備えて防災備蓄品を常備し、復旧に向けた対応ができるよう対策しています。



備蓄食料品

防災のしおり

○ 情報セキュリティへの取り組み

当社は情報資産を適切に管理・保護するとともにサイバー攻撃等の脅威に対応すべく情報セキュリティに関する各種規定を策定し、これに基づくセキュリティ対策に取り組んでいます。また、情報セキュリティに関する意識向上と技術レベル向上のため、従業員に対して継続的に教育を行ない、その遵守の徹底を図っています。

情報セキュリティ教育	テーマ	実施日
	標的型メール攻撃に関する訓練メールの結果報告	2020年9月

○ 反社会的勢力に対する対応

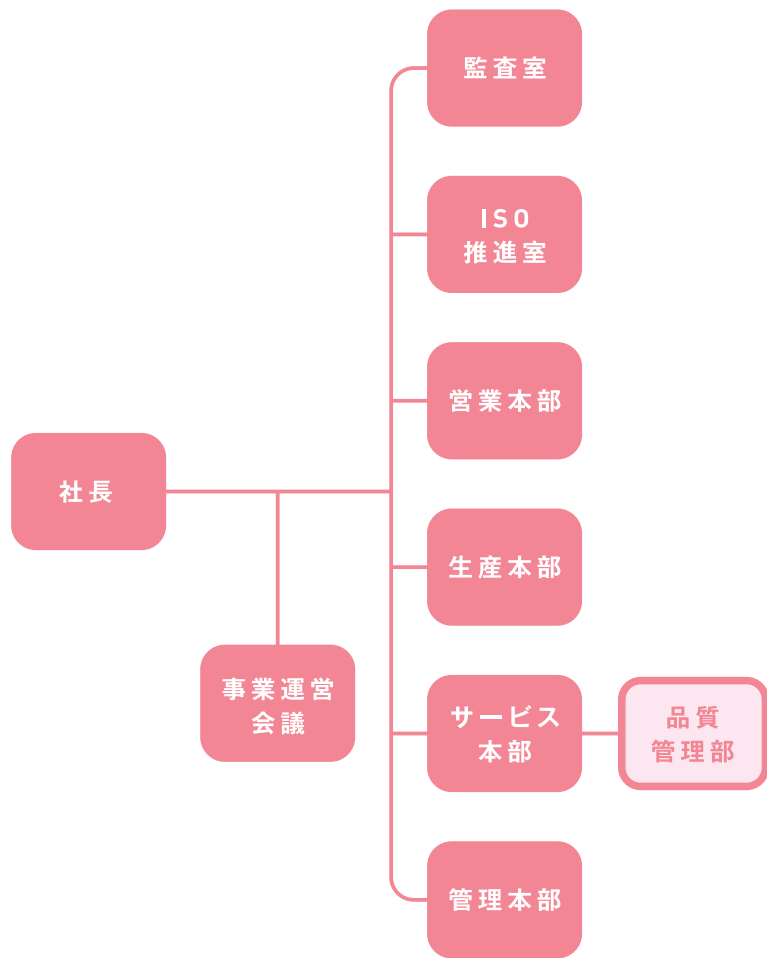
当社は社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体と一切関係を持たず断固として対決します。反社会的勢力および団体からの接触を受けた際には、警察・弁護士など外部機関との連携を図るとともに、経営トップをはじめとして全社一丸となって組織的に対応を行います。

6 customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



品質保証



品質保証体制

当社では、お客様の信頼に応え、満足される商品とサービスを提供し続けるため、社長をトップとした品質保証体制を構築しています。「品質向上会議」や「品質確認会」を定期的開催し、使用時におけるリスクの低減を図るとともに、より良い製品づくりに向けて改善活動を継続して行っています。

また、製作の技術向上のため社内にて、実技指導を交えた講習会を実施しております。



品質向上会議



品質確認会



社内講習会

品質マネジメントシステムの運用

日本トレクスでは全事業所で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001(2015年度版)の認証を取得しています。各事業所では「改善計画策定」「改善実行」「達成状況の評価」「次の改善への反映」のPDCAサイクルを徹底し、製品安全の確保、品質の確保、継続的品質の改善に努めるとともに、品質マネジメントシステムの有効性監査を2000年度から継続して実施しています。

情報開示

当社製品におけるリコール・改善対策・サービスキャンペーンといった市場改修に関しては、速やかに所轄官庁に報告する体制を整えています。それとあわせて、できるだけ早期にお客様にその情報が伝わるようにホームページやダイレクトメールでお知らせを行っています。なお、リコール等の情報については、当社ホームページでもご覧いただけます。

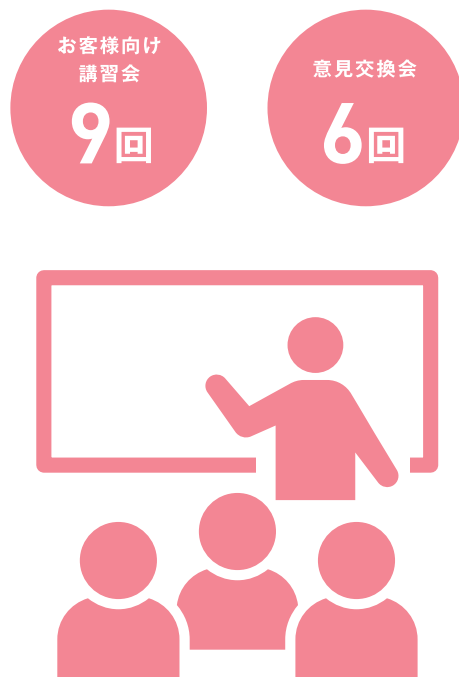
リコール等届出日	件名	対象機種
2020年 7月28日	尾灯・制動灯に関する市場改修	トレーラ
2020年 7月28日	バン型冷蔵冷凍車に関する市場改修	トラック・トレーラ
2020年10月26日	バン型大型トラック(スペアタイヤ取付装置)に関する市場改修	トラック

6 customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



■ サービス品質向上に向けた取り組み



当社では、サービス品質向上の一環として、製品が本来もっている性能をフルに発揮し、長期間にわたり当社製品を安全に安心してご使用いただけるよう、技術的な知識や整備に関するノウハウについて講習会を開催しております。2020年度は「お客様向け講習会」9回、「意見交換会」6回と計15回の講習会を行いました。今後も全国のサービス網と連携しながら、継続したアフターサービスを提供することで、お客様満足度の更なる向上を目指してまいります。

○ お客様向け講習会の開催

ディーラー整備担当者およびユーザー整備担当者に対し、「車軸・エアサスペンション・ブレーキ・ウイングボデー」の整備方法について、より理解を深めてもらうため、トレーニングセンターを設けて講習会を開催しています。トレーニングセンターでの講習会以外にも、トレーニング機材をお客様のもとへお届けしての出張講習も実施しています。



○ 安全講習会の開催

ドライバー・運行管理者向けの講習会で、「始業前点検・定期交換部品・構造説明」に重点を置き講習を行うことで、安全運行に関する知識を深めていただきます。



○ 運転講習会の開催

トレーラを新規導入されるお客様を対象として、操作方法や注意事項を習得していただくことにより、トレーラの運転に対する理解を深めていただきます。



○ トレーラ新車点検制度

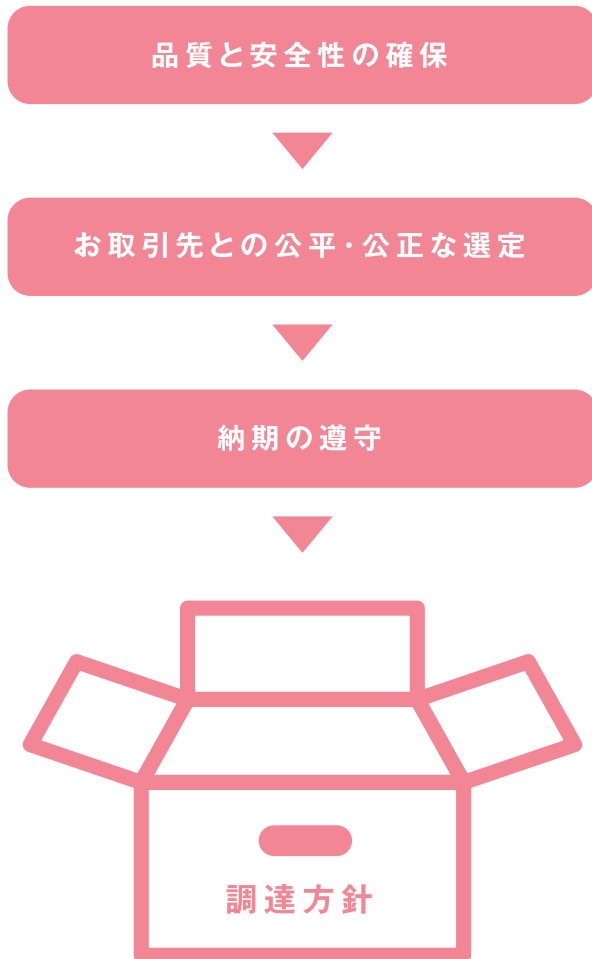
新車登録後、1ヶ月の時点で、異常がないかを確認させていただくための点検です。トレックスのトレーラは全車『1ヶ月新車点検サービス』を行っており、安心してお使いいただけるよう、エア漏れやナットの緩みなど、30項目以上にのぼる点検を無料で実施しています。

6 | customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



■ CSR 調達



日本トレクスは企業理念の実現のため、高品質で環境に優しくコストパフォーマンスに優れた部品や原材料、設備の調達を目指しています。そのためには、お取引先と当社が対等な立場で相互に信頼し、共存共栄できる関係をつくるのが重要だと考えています。また、環境方針を資材調達活動の基本的な考え方の一つとしてとらえ、これらを基に「調達方針」を制定し、お取引先に対してご協力をお願いしています。

○ お取引先との交流

中長期的な経営戦略や生産・販売・調達に関する方針をお取引先と共有するため、毎年「総会」を開催しています。また、お取引先で構成される「協力会」とも連携し、定期的に情報を交換しています。



トレクス会 総会の様子

○ グリーン調達

地球環境・地域環境に配慮した製品を社会に提供するため、環境に配慮した活動を行なうお取引先から、環境負荷がより少ない物品を調達するよう努めています。

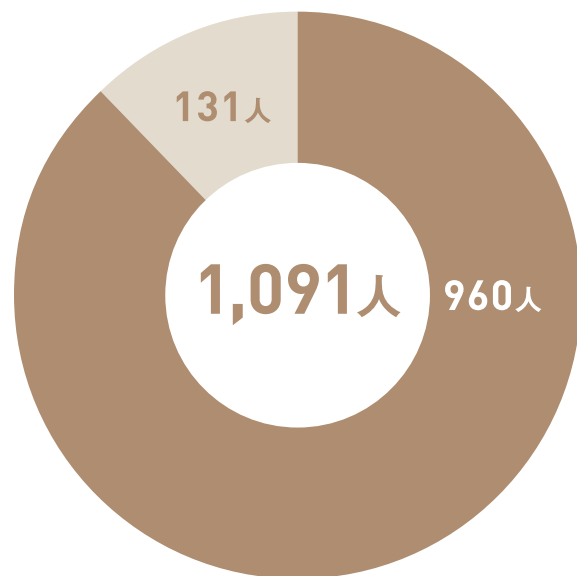
7 | with employees

従業員とともに

■ 雇用状況

日本トレクスでは、1,091人の従業員が働いています。[2021年3月末時点]

従業員数



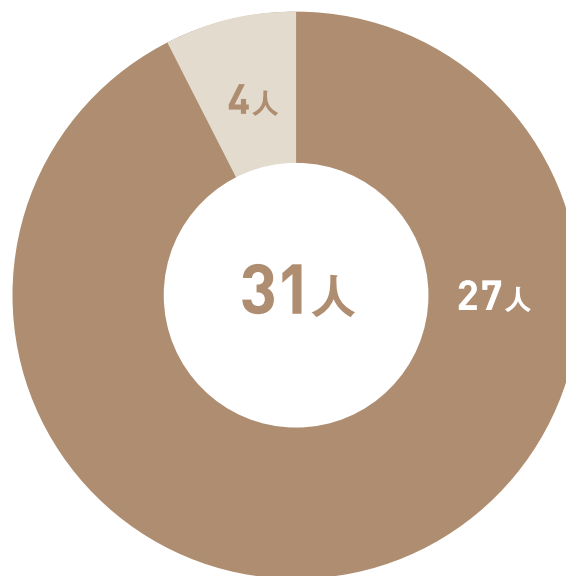
■ …男性 ■ …女性

※正社員・契約社員・パートの合計人数

※出向者は出向先を含む

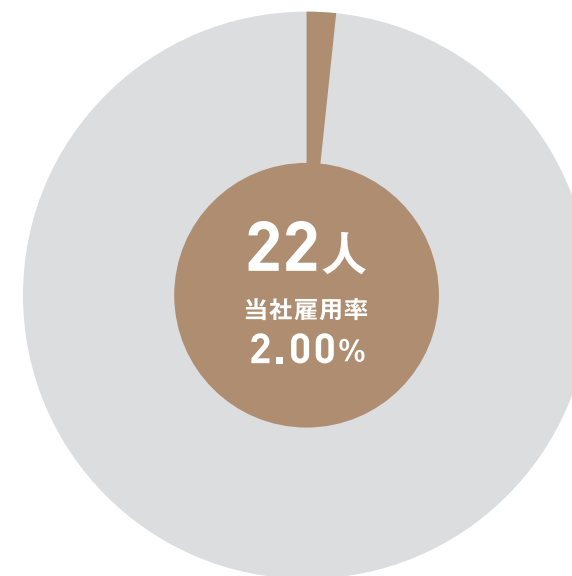
※管理者含む

新卒採用者数



■ …男性 ■ …女性

障がい者雇用人数



7 | with employees

従業員とともに



■ 育児・介護に向けた支援

従業員が安心して育児や介護に専念できるよう、短時間勤務や時間差勤務制度など、労働時間に関する制度のほか、産前産後の通院に配慮した制度や復職に際しての制度を設けるなど、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた体制づくりを進めています。

有給取得平均日数

11.6日



育休取得者数

8人
(うち男性1人)

ウイング製造課 ニシモリ マルサル さん

1か月ほど育休を取得しました。申請が簡単でしたので育休の制度は使いやすく、手続き関係も会社が正確に行ってくれました。子供が双子であることもあり、すべての作業・動作を2人同時に行うのでとてもユニークな経験をしています。同時に2人分なので大変なことも多いですが、面倒を見るやりがいがあります。



職場に復帰した後も、子供が急に体調を崩したりして仕事を休む必要がある場合もあります。その際は会社が状況を理解してくれてスムーズに休みを取ることができます。

アフターマーケット部 森下さん

現在2回目の育休中です。最近は福利厚生を利用してミカン狩りに行き、子供たちもとても喜んでいました。社内で育休制度は浸透しており、とても使いやすかったです。取得前は、人事・上司・課員の皆さんにたくさんフォローして頂きました。妊娠中の急な入院への対応、後任者への迅速な引継ぎなど、アットホームな職場環境にとても救われました。



1人目の育休復帰後からは時短勤務しています。子供の体調などで遅刻や早退、急なお休みを頂くこともあります。その分少しでも課員の力になりたいという思いが増し、私なりに仕事の効率など考える機会が増えました。仕事と育児の両立を応援してくれる会社だと実感しています。

7 | with employees

従業員とともに



■ 人材育成

従業員の成長と役割自覚、やりがい、働きがいを形成する人事制度や研修、表彰制度などを運用しています。

人事制度

従業員自身が関わった業績への自己評価やキャリア形成の意向、異動の希望などを申告する機会を定期的に設け、従業員一人ひとりが自身に求められる期待や役割を自発的に果たせる人材に成長できるよう、人事制度を運用しています。また当社では「より仕事を通じた価値創造のできる人材育成」をすすめることを目的として、2020年度より新しい人事制度を運用しています。

能力開発制度

勤務年数や役職に合わせて職務に必要なスキルを身につける「階層別研修」と、職業人生における今後のキャリア形成を支援する「キャリア研修」を実施し、年間を通じて従業員自らが能力開発していく基盤づくりをサポートしています。

従業員表彰制度

〈改善実施賞制度〉では、品質・安全の向上、原価の低減など、従業員の創意工夫による改善実施の結果を適正に評価し、優秀な改善事例については、年2回開催される発表会で紹介され、従業員同士で認識を共有しています。また〈安全表彰制度〉では、安全意識を高揚し、労働災害の減少を図るため、他の規範と認められた職場を表彰し、自主的な安全衛生の推進を促進しています。

自己啓発通信教育奨励制度

語学・資格取得対策・専門技術・特殊技能などさまざまな分野の通信教育約250講座の中から、各自が自由に選択して受講することができる制度です。修了状況に応じて通信教育受講料を最大全額奨励金として支給し、従業員の自発的なスキル向上を促進しています。

技能講習会・技能検定

製品の品質向上と技能伝承を目的に、従業員を対象とした各種業務に必要な技術の講習会や検定を実施しています。

- 玉掛け技能講習
- プレス作業主任者技能講習
- ガス溶接技能講習
- 木材加工用機械作業主任者技能講習
- 高所作業車技能講習
- クレーン特別教育 他
- フォークリフト技能講習



若手営業職勉強会



改善事例発表会



高所作業車技能講習(外部機関で実施)



クレーン特別教育(本社事業所で実施)

7 | with employees

従業員とともに

■ より良い職場環境へ



○ 職場環境改善

安心して働ける職場環境づくりには、従業員の安全・健康に対する配慮の徹底が不可欠と考え、健康維持・増進に向けたさまざまな施策を実施しています。

夏場の熱中症対策として、水分・塩分補給のためのスポーツドリンク、塩飴の配布を行うとともに、新たに空調服の貸与をはじめました。また、職場環境の改善として、工場屋根の断熱化を順次すすめるとともに、スポットクーラー等の設備導入も推進しています。

熱中症対策



飲料水配付の様子

AED
〔自動体外式除細動器〕
の設置

本社事業所に4台、音羽事業所に2台、御津事業所に1台常備しています。必要時に迅速かつ適切にAEDが使用できるよう、各職場ごとに救急救命講習修了者を配置し、来社されたお客様や従業員、地域の皆さまの万一の事態に備えています。

■ レクリエーション



コミュニケーションの取りやすい風通しの良い職場づくりに向けて、社内レクリエーションや各種クラブ活動に積極的に取り組んでいます。



トレクスサイクリングクラブ



トレクスランニングクラブ



トレクスサバゲークラブ

7 | with employees

従業員とともに

■ココロとカラダの健康づくり



家庭と仕事を両立させ安心して働き続けられるよう、アニバーサリー休暇の制定や、ノー残業デーの制定など、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

○健康経営宣言

従業員が心身ともに健康であることを第一とし、従業員の健康と個人の能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進するため、「健康経営宣言」を制定しました。

○カラダの健康

健康をサポートするために、健康保険組合と協同し、各種セミナーやウォーキングキャンペーンを実施しています。福利厚生として、提携スポーツクラブの法人価格での利用も推進しています。



○ココロの健康

ストレスチェックや面談を行い、メンタルヘルスが損なわれることのないような職場づくりをすすめています。万が一、従業員がメンタルヘル스에不調をきたした場合は、専門機関と提携して医療職との面談を重ねながら、職場復帰のためのフォローを行っています。また、管理者・従業員に対し、専門の講師を招いて「ハラスメント研修」を開催し、誰もが働きやすい職場づくりに向けた啓蒙をすすめています。

○休暇の制定

〈アニバーサリー休暇〉では定期的に心身ともにリフレッシュを図ることを支援するため、6日間/年をアニバーサリー休暇として従業員各自が設定、計画的に年次有給休暇を取得しています。〈永年勤続制度〉では勤続10年ごとに従業員に感謝の意を表し、連続5日間の休暇を付与する制度を導入しています。

○末永く働ける環境のために

病気や怪我によって会社を休むことになった場合でも、生活の心配をすることなく療養に専念できる環境を創りだすこと、早期の就労復帰を支援することを目的に、GTLD制度(傷病による長期療養時の給与補償制度)を導入しました。

※GTLD : Group Long Term Disabilityの頭文字をとったもので長期間仕事ができない状態という意味。

8 | health and safety

安全衛生の推進



■ 安全衛生に向けた取り組み

当社では、従業員の安全と健康の確保が企業の存続の基盤をなすものと認識し、安全衛生管理規定に基づいて、さまざまな安全運動に取り組んでいます。

+

安全衛生委員会の開催

毎月1回、それぞれの職場で発生した事故やケガの状況、安全に関する取り組み事例の紹介など、安全衛生に関する情報交換や問題解決に向けた話し合いを行っています。



安全衛生委員会の様子

+

安全巡視(パトロール)の実施

メンバーが作業エリアを分担してパトロールを実施し、不安全な作業の廃止や、不安全な状況の改善に向けて、見回り活動を行っています。



安全巡視の様子

+

安全体感教育の実施

災害を疑似体感できる装置を用いた「安全体感教育」を協力会社を含め全従業員に実施しています。安全体感教育を実施することで、危険に対する感受性を高めるとともに、不安全行動の抑制を図り、労働災害を未然に防ぐことを目指しています。



安全体感教育の様子

+

防災訓練・AED講習

本社事業所・音羽事業所・御津事業所では、各事業所ごとに「自衛消防隊組織」を編成するとともに、いざという時に従業員自らが安全行動を取れるよう、大規模地震を想定した訓練を行っています。また、防災訓練時や入社した従業員に対しAED講習会を行い緊急事態の場合に対応できるようにしています。



消火訓練の様子



AED講習の様子

+

安全祈願の実施

本社事業所内に建立された明神社では、毎月第1営業日に、社長、役員および管理監督者による安全祈願が執り行われ、安全意識の高揚が図られています。



安全祈願の様子

+

安全衛生コンサルタント講習会の開催

安全衛生コンサルタントの講師を迎え、実際に現場をまわり現状を見てもらいアドバイスをいただいて職場の安全環境を整えています。

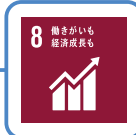


安全衛生コンサルタント講習会の様子

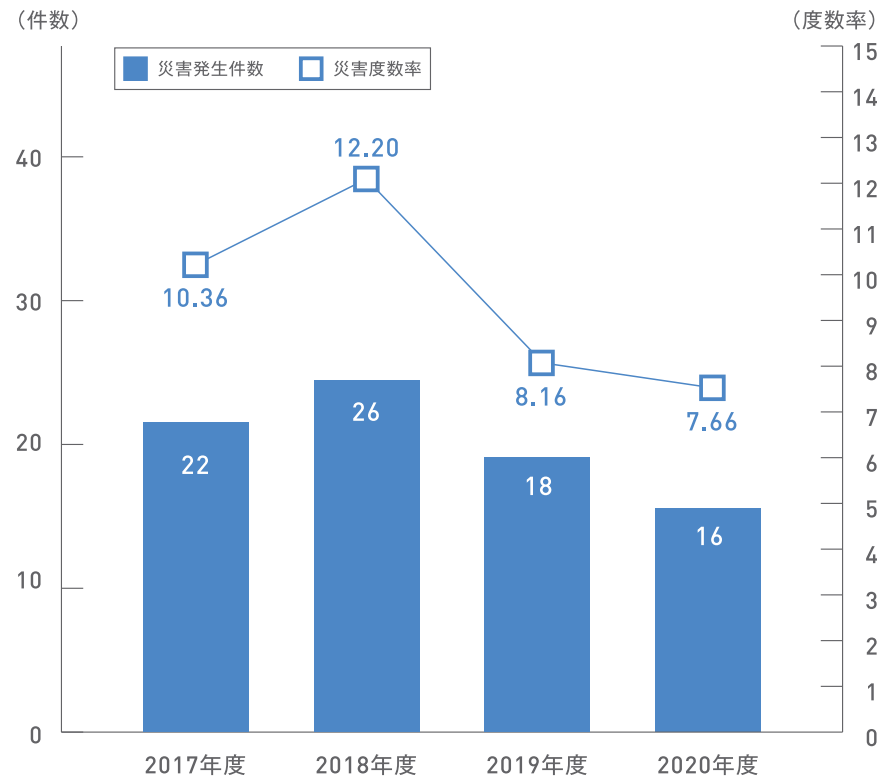
8 | health and safety

安全衛生の推進

■ 安全成績



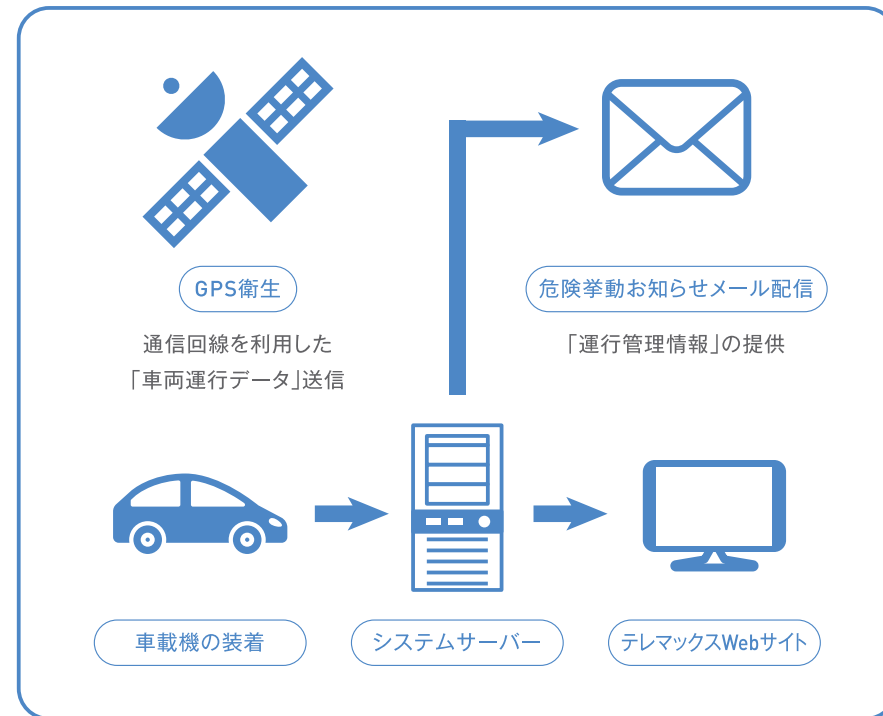
労働災害発件数の削減に取り組んでおりますが、2019年度は18件、2020年度は16件発生しました。2021年度はあらためて「労働災害ゼロ」を目標に、従業員の健康管理を含めた労災防止に努めてまいります。



■ 営業活動での安全対策



事故や災害は工場に限ったことではありません。当社では、日々の営業活動においてより安全で、且つ安心して移動できるよう、社有車にドライブレコーダー、通信機能やGPS機能を備えた専用端末を取り付け、運行状況を見える化できるシステム(テレマティックシステム)を導入しています。速度超過のほか、急ブレーキや急加速といった不安全運転を察知し指導することで、社用車を使用する従業員の安全と、車による事故を未然に防止しています。



9 | environment

環境への取り組み

■ 基本姿勢

当社は生産に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点で自然から多大なる恩恵を受けて事業活動を行っています。これを念頭に、地球環境をより良い状態で時代に引き継ぐための活動を、あらゆる事業の場面で自主的かつ積極的に行っています。私たち人類にとって、地球環境はかけがえのないものです。当社は、環境を守ることが企業の責務であり、経営の重要課題であると考えています。



■ ISO14001への対応

環境保全活動を組織的に運営していくため、本社事業所、音羽事業所、御津事業所の3つの全事業所においてISO14001の認証を取得しています。

1 環境問題に積極的に取り組み循環型社会を追求する

2 地球環境の保全に役立つ技術開発を指向する

3 公害防止、省エネルギーに配慮する

4 製品の再資源化に注力する

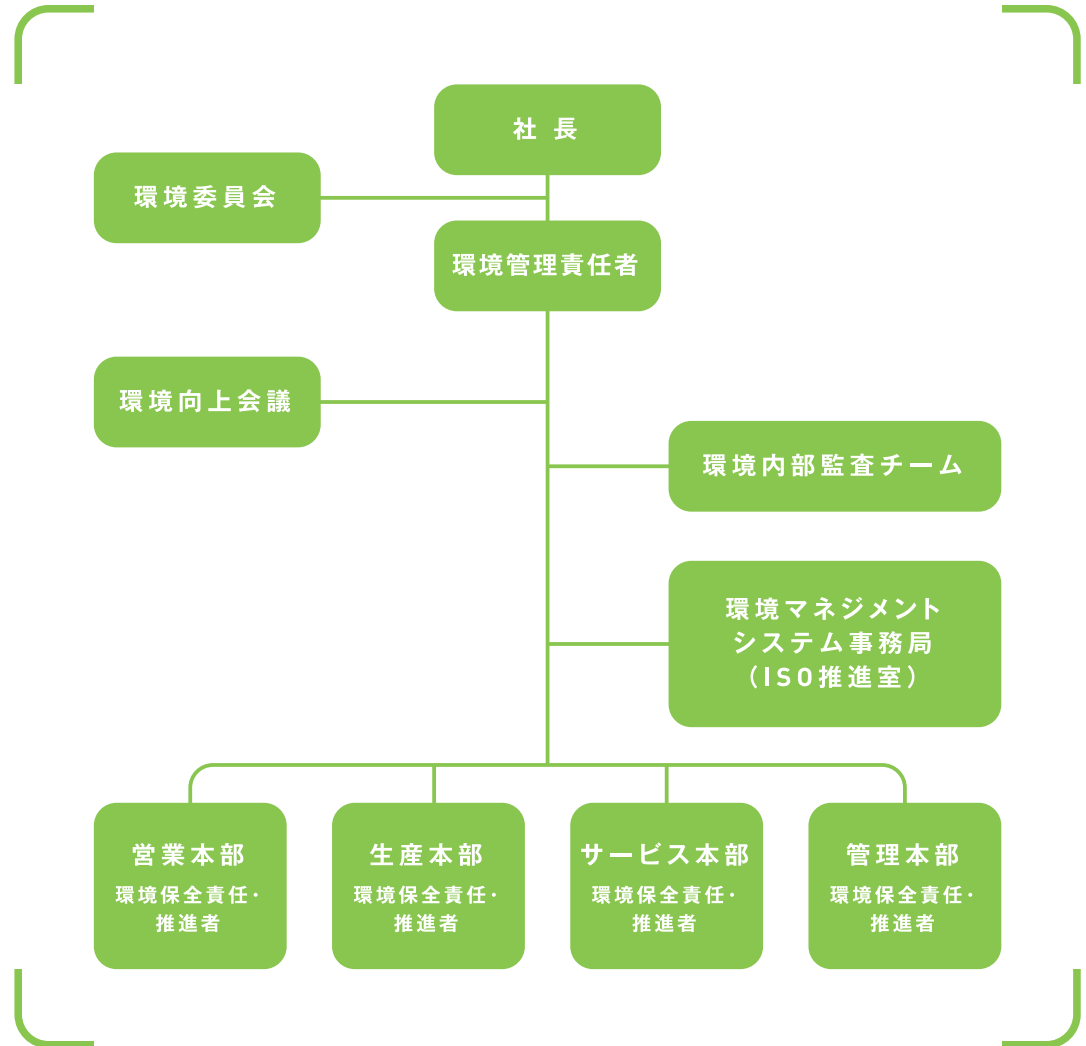
5 良好な環境の維持向上に努める

9 | environment

環境への取り組み

■ 推進体制

社長を環境最高責任者とする推進体制を構築しています。また、対象部署では各部長を環境保全責任者、各課長を環境保全推進者とし、部署ごとに1名以上の推進担当者を配置して活動の底上げを図っています。



9 | environment

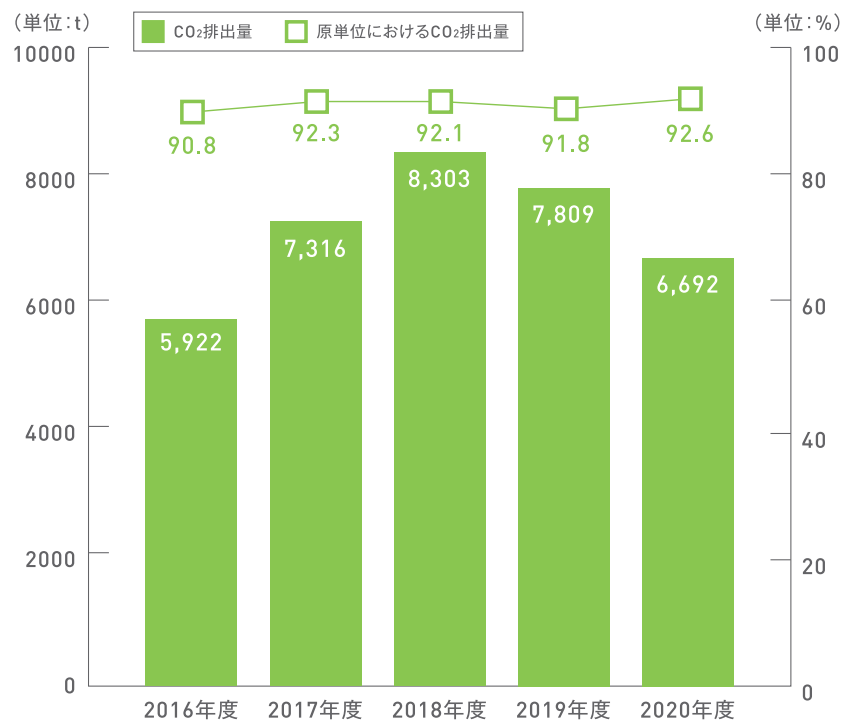
環境への取り組み

■ 脱炭素社会にむけて



施設内照明のLED化、省エネ機器の導入、社用車への次世代車両導入、太陽光発電の実施など、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。今後は生産工程を含めた業務効率の改善に重点的に取り組み、事業活動全体での脱炭素化を目指します。

○ エネルギー使用による二酸化炭素(CO₂)排出量の推移



■ 自社植林のアカシア材を製品に使用



弊社では、2004年5月よりマレーシア・サバ州で植林事業を開始しました。そして、2020年より成長したアカシア材を製材し、トレーラやトラックの床材として製品に使用しております。

伐採した後は、挿し木苗による再植林をし再びアカシアを育て森を再生しています。これからもトレクスでは、持続可能な事業活動を行ってまいります。



9 | environment

環境への取り組み

■ 環境リスクを減らすために



○ 定期的な排水の水質調査

当社は、環境マネジメントシステムを運用するにあたり、法令順守を大前提に管理を行っています。定期的に排水・騒音・粉塵などを測定管理し、違反につながる事例については、早急な改善を行い再発防止に努めています。

○ 近隣住民の生活環境の保全

春と秋の年2回、事業所周辺にお住まいの方々へ騒音・粉塵・臭いなどでご意見がないか聞き取り調査を行い、地域住民の皆さまとの良好な関係を築くべく改善活動に役立てています。

○ 車両プールの集約化

遠方に複数借りていた車両プールを集約することで、事業所間の回送距離が大幅に減少し、CO₂削減を行うことができております。



水質調査の様子



御津1区プール

■ 省エネルギー活動



○ モーダルシフト

完成品の陸送を行うにあたりフェリー輸送を積極的に活用することで、エネルギー消費効率の向上およびCO₂削減に努めています。

○ 自然エネルギーの有効活用

音羽事業所の屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効利用と環境負荷の低減に努めています。

○ 本社工場及び御津工場の照明LED化

本社および御津工場では順次照明のLED化を進めています。より明るい光を少量の電力で供給することが可能です。



音羽事業所屋上の太陽光発電パネル



本社A工場の照明LED化

9 | environment

環境への取り組み

■ SOCフリー化に向けた取り組み



当社では、『欧州廃車指令(ELV指令:End of Life Vehicle)』、業界団体である一般社団法人、一般社団法人 日本自動車車体工業会の『環境負荷物質自主取り組み基準』、およびお客様からの要求を踏まえ、2005年よりSOC(カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)フリー化に取り組んでまいりました。結果としてトラック系に続いてトレーラ系においても2010年度末に自主基準を達成しました。今後はエビデンスの徹底管理によるSOCフリー化の維持とともに、製品に対するお客様からの新たな化学物質管理の要求に適切に対応していくため、生産本部長をトップとする管理体制を敷き、化学物質の管理強化に取り組んでまいります。

■ 溶接ヒューム規制対応について



溶接ヒューム(溶接のアーク火花によって蒸発した金属)にさらされることによる健康被害防止措置の取り組みの一環として、粉じん発生量により作業場ごとに電動ファン付呼吸用保護具、取替式防じんマスク、使い捨て防じんマスクの使い分けを行なうとともに、職場に正しいマスクの使用方法を掲示するなど、従業員が安心して作業に取り組めるよう環境作りを行なっています。



電動ファン付き呼吸用保護具



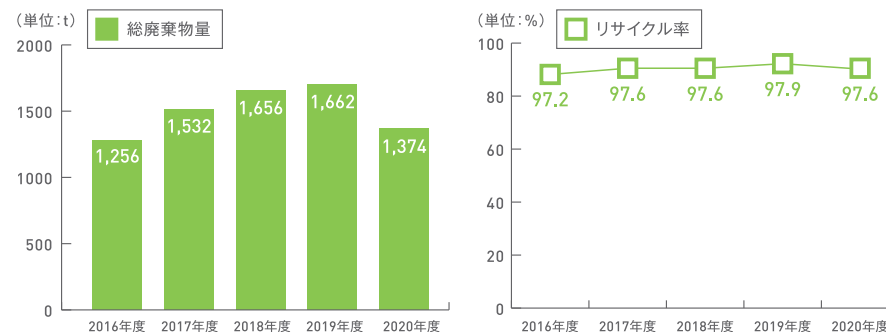
啓蒙ポスターを職場へ掲示

■ 循環型社会に向けて



限りある資源を大切に利用するためにも、また廃棄物による地球環境への負担を減らすためにも廃棄物削減は重要です。当社では事業活動で発生する廃棄物削減とリサイクル向上に努めており、90%以上のリサイクル率を実現しています。今後はプラスチックゴミなどの廃棄物の総量削減に向けた取り組みをすすめてまいります。

○ 総廃棄物量とリサイクル率の推移



○ 産業廃棄物処理費用低減

スチレンやプラスチック・ビニールを社内で圧縮加工することで処理費用の低減を行っています。



作業の様子



圧縮加工された廃棄物

10 | community involvement

地域社会とともに



■ 地域との協業



[明神社例祭の実施]

11月の第1土曜日には明神祭を実施し、従業員やその家族、近隣の住民の方々を招待し地域との交流、地域への社会貢献の機会となっています。2020年、2021年と新型コロナウイルスにより明神祭は中止とし、例祭のみ社内の明神社にて実施しました。



[インターンシップ・職場体験学習生の受入れ]

就職後に実践的な能力を発揮出来るよう、在学中に「学外実務訓練」をカリキュラムに取り入れる学校が増えています。当社もその要請に応えるべく、就業体験をしてもらうことで、職業観の形成、キャリアプランの構築など、将来の就業に活かすことができるよう支援しています。



[工場周辺清掃活動]

きれいな街づくりは安全・安心の第一歩という考えのもと、工場周辺道路を中心に、定期的に清掃活動を実施しています。活動の結果、環境保全の意識が高まり、年々ゴミの量は減少しています。今後も継続した活動を実施することで、環境活動の保全に努めてまいります。

編集方針

本報告書では持続可能な社会の実現に向けた、日本トレックスの取り組みを今後の計画とともに報告しています。

報告範囲・対象期間

対象組織 日本トレックス株式会社を中心にグループの活動を報告しています。

対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日

対象読者 日本トレックスに関わる全てのステークホルダーの皆さま

発行日 2022年2月